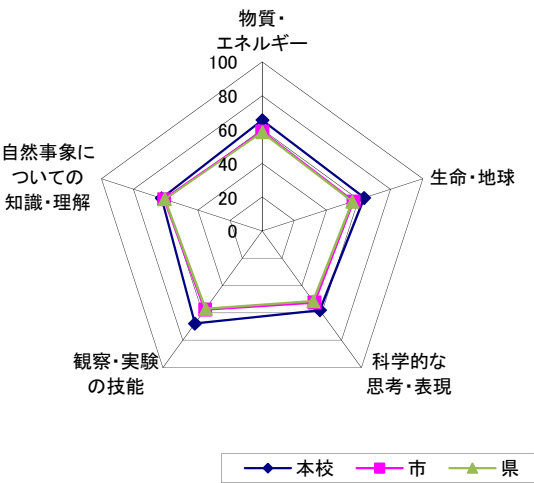


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	65.6	59.0	58.3
	生命・地球	63.5	56.8	56.1
観点	科学的な思考・表現	58.1	52.5	51.4
	観察・実験の技能	67.8	57.6	57.0
	自然事象についての知識・理解	62.6	61.0	60.6



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○本校の平均正答率は、県の平均を7.3ポイント、市の平均を6.6ポイント上回っている。 ○さまざまな形状の金属の温まり方を推測する設問では、校内正答率が9割を超えている。 ●空気や金属を温めると体積が増加することから、現象を説明したり推測したりする設問では、いずれも県の平均正答率を上回っているものの、課題が見られる。 ●思考力・判断力・表現力を活用する設問で、課題が見られる。	・実験、観察を通して明らかな事実をみんなで丁寧に共有できるようにしていきたい。また、その結果考えられることを各自が言語化する活動を学習活動の中に位置付け、学習内容を整理し理解できるようにする。 ・学習し身に付けた知識や考え方をもとに、身の回りの事象を見つめられるようにするため、学習を通して抱いた「なぜ」「どうして」という問いを、各自が自主学習で追及していけるよう指導、支援していきたい。
生命・地球	○本校の正答率は、県の平均を7.4ポイント、市の平均を6.7ポイント上回っている。 ○グラフから植物の生長を読み取る設問や、星の並び方についての設問では正答率が9割を上回っている。 ●人の体のつくり学習で、骨、筋肉、関節に関わる設問では、県の平均正答率を上回っているものの、学習内容の定着が十分であるとは言えず課題である。 ●水の状態変化に関する知識をもとに思考・判断・表現する設問の平均正答率は、県の平均とほぼ変わらない結果であるが十分とは言えず、今後の課題である。	・授業と、それに続く家庭学習の中で知識を身に付けることができるよう指導、支援していきたい。また、その際、機械的な覚え方に終始することのないように、マインドマップ等を活用した整理、関連の付け方を指導していきたい。 ・学習し習い覚えた知識を関連付けて、身の回りの事象を解説するような学習活動を取り入れるようにしていきたい。